

ふるさと応援便

佐藤漁業

×

湧別町企画財政課所属地域おこし協力隊

生産者の想い、 全国に届けっ！

北海道オホーツク海沿岸に位置する湧別町。雄大な土地だけでなくサロマ湖とオホーツク海に面しており、漁業・農業・林業など一次産業がとても盛んな町です。そんな小さな町から全国の皆さまへ“生産者の想い”をお届けします。



こどもたちより手間ひまかけて 育てた牡蠣

湧別町登栄床(とえとこ)漁港で牡蠣を育て、販売をしている佐藤漁業さん。旦那様の佐藤努さんが3代目になり30年以上たちます。豊富なプランクトンを食べ育てる湧別産サロマ湖の牡蠣は身が小ぶりですがクリーミーで濃厚な旨み・甘味が特徴的です。24時間以上オゾン・紫外線殺菌しており、毎週ノロウイルス検査も実施しているので安心して食べることができます。また、海のミルクといわれているだけあって健康にもいいそうで肝臓の数値が高かった人が1日に2〜3個牡蠣を食べ続けて元の数値まで下がったのだとか。

冬場はマイナス20℃にも達し、サロマ湖は一面氷で覆われます。そのため、水揚げは湖上をスノーモービルで走り、チェーンソーで氷を割って氷下の牡蠣を収穫しています。この作業は寒さとの闘いとなり、とても大変とおっしゃっていました。まさに、北海道弁でいう凍れる(しばれる)という状況です。また、夏場には育てるカゴを何度か入れ替えているそう。この作業は牡蠣の身入りをよくするための作業で、奥様の弥生さんは「自分のこどもたちよりも手間ひまかけてるよ!」と笑っておっしゃっていました。

